

かんが  
考えてみよう： なぜ戦国時代がはじまったのでしょうか

くうらん う  
空欄を埋めましょう！(Fill in the blanks！)

## §1 おうにん らん 応仁の乱

### (1) はいけい 背景

- ① 3代将軍足利義満の死後、幕府と将軍の支配が衰える
- ② 6代将軍足利義教が暗殺された(=嘉吉の変)
- ③ 各地で支配に対する抵抗(1 一揆)が起こる

ゆうりよく しゅごだいみょうどうし せいりよくあらそ げきか  
有力な守護大名同士の勢力争い激化

### (2) おうにん らん はっせい 応仁の乱の発生

- ① 8代将軍(2 足利義政)

…将軍権力の強化を目指した → 失敗  
→ 社会の混乱はさらに拡大した

- ② 将軍継嗣問題

おとうと よし み こ よしひさ  
弟・義視 VS 子・義尚

→ それぞれが有力な守護大名たちと結びつく

→ 幕府を二分する大きな争乱となった = (3 応仁の乱)



▲ おうにん らん しんにょどうえんぎえまき  
応仁の乱(『真如堂縁起絵巻』)

出典: 真正極楽寺

### ★ おうにん らん えいきやう 応仁の乱の影響

- ・ 戦乱は京都を中心に11年間も続いた → 京都の大半は焼け野原となった
- ・ 争いが全国化した → 幕府と将軍は全国を支配する力を失った

※ (4 下剋上) の風潮が高まる

《Keyword》(4 下剋上) (下克上)

= 下の位の者が上の位の者に打ち勝って権力を手に入れること



## §2 戦国時代

(1)(5 戦国時代) = 下剋上の争いが続いた約100年の時代

(2)(6 戦国大名) = 下の位の者が実力で主人(守護大名など)を倒し、

自ら直接土地と民衆を支配した大名のこと

(例) 守護大名から戦国大名になった例…今川氏・島津氏

下剋上によって戦国大名になった例…北条早雲・毛利元就

(3) 戦国大名の領国経営

① 領国支配の安定化

産業を盛んにする

② 軍勢力強化

地侍を家臣に加える

③ 城下町

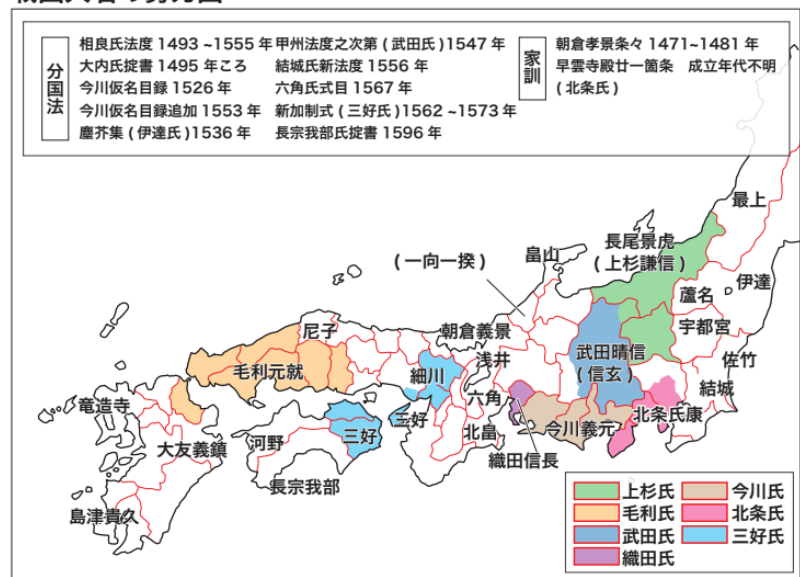
城のまわりに家臣や商工業者を  
集め、住ませる

④ (7 分国法)

= 自分が支配している領国内に

適用される法律

### 戦国大名の勢力図



戦国大名の勢力範囲 (16 世紀半ばごろ)

イラスト: Be Design Office

## 書いてみよう : 戦国時代のはじまりと特徴についてまとめてみよう

(例) 応仁の乱が長く続いたことによって室町幕府や守護大名の力は衰えた。そして、力の劣った守護大名は実力をたくわえた家臣にその地位を奪われるようになった。このように、下の位の者が上の位の者を実力で倒して権力を奪うことを下剋上という。下剋上によって生まれた支配者を戦国大名といい、戦国大名は自分の領地に適用される分国法という法律をつくって支配を進めていった。

(キーワード: 応仁の乱 守護大名 下剋上 戦国大名 分国法)